

コード	401030802
記入日:	H22.6.11

## 事務事業途中評価表

課コード	116
課名	水産課
課長名	太田 均
担当者	初田正信

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	公園施設管理業務委託事業費
----------	---------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40103	基本事業名称	水産業基盤整備の推進	目コード	3
事務事業コード	4010308	事務事業名称	水産施設管理費	細目コード	841
関連計画	法令・条例規則等		長崎県漁港管理条例・新上五島町漁港管理条例		

**計画(PLAN)** ※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標					
(対象1)	漁港区域内の公園	(対象指標1) 7箇所					
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	<p>・安全、安心に利用してもらうためにトイレの清掃や草刈りを委託している。          ・トイレ7箇所の清掃を個人に委託、草刈りについては老人クラブ及び地区に委託している。</p>	*****	*****	*****	清掃回数461回÷計画した清掃回数480回	*****	
		①	トイレ清掃回数	461回	96.0%		平成21年度
		(達成率分析)	委託していた個人の事情により、下半期の清掃ができなかったため達成率が少しさがっている。				
		②	草刈り回数	3回	100%	草刈り回数3回÷計画した草刈り回数3回	*****
(達成率分析)	年2回の草刈りを老人クラブに依頼と別に地区に1回を依頼し、予定通り3回とも実施できた。						
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
<p>緑地広場のトイレ清掃や草刈りを行うことにより、施設を利用する住民が安心・安全に利用できることを目的としている。これにより漁民だけでなく一般住民の利用も促進され、施設の利活用の向上が図られる。</p>		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		*****	*****	*****	安全利用可能日数365日÷年間日数365日	*****	
		①	安全利用可能日数	365日	100%		平成21年度
		(達成率分析)	トイレ清掃については、委託している個人の事情により下半期の清掃が出来なくなったが、代わりにの人に依頼し引き継いでもらったので安全に利用できている。				
②							
(達成率分析)							

**実施(DO)** ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 回	2,219	2,200	1,739	480	461					
	② 回	11	11	8	3	3					
成果指標	① 回	1,826	1,826	1,461	365	365					
	②										
総事業費C(A+B)	千円	6,001	5,990	4,679	1,322	1,311					
直接事業費A	千円	2,501	2,490	1,879	622	611					
人件費B	千円	3,500	3,500	2,800	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.5	0.5	0.4	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	6,001	5,990	4,679	1,322	1,311					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	施設管理者である町が行うべきである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	施設の安全性及び利便性を考えると管理者が行うべきである。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	施設管理者が維持管理していくうえで適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	清掃を定期的に行うことにより安全な施設維持につながっている。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	個人及び地域に依頼し計画的に実施しているので余地はない。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	公園や施設の安全性と利便性がむずかしくなる。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	各地区ごとの単一の事業であるため整理統合はきびしい。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	清掃等は1日単位及び時間単位で計画しているので削減はきびしい。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	現在の人員を減らすことは、維持管理上できない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	施設管理者で行うべきものと思われる。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	施設を清潔に維持していくには、現在の計画を見直す必要はない。
		有効性	施設を管理していくうえでは、地元地区に協力してもらい実施していくことで、安全性及び利便性の向上につながるため、本事業は必要である。
		効率性	現在は、時間単位等で協力してもらっているので、施設を維持していくためには、これ以上の削減をすることは出来ない。
		課題に向けた改善策	漁港公園を安全に利用してもらうためには、点検等を定期的に行う必要がある。
改善策	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	引き続き施設設置の地区の協力を得ながら、維持管理に努めること。
		効率性	1次評価のとおり

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
			事業費を見直して事業を継続				事業の廃止	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。